

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【公表番号】特表2010-511501(P2010-511501A)

【公表日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【年通号数】公開・登録公報2010-015

【出願番号】特願2009-539664(P2009-539664)

【国際特許分類】

B 01 J 19/00 (2006.01)

B 01 F 11/00 (2006.01)

B 01 F 13/08 (2006.01)

【F I】

B 01 J 19/00 3 2 1

B 01 F 11/00 B

B 01 F 13/08 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月6日(2010.12.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内部を連続的に又は間欠的に流れるプロセス材料を処理するためのシステムであって、2つ以上のセル(2)を備え、セルは、プロセス材料が流れるセル間導管(4)によって連結され、

セル内での混合は、セル内にある攪拌要素(1)を動かすことにより生じ、攪拌要素は、プロセス材料とは異なる密度を有し、機械式駆動機構に連結されていないことを特徴とするシステム。

【請求項2】

攪拌要素(1)の運動は、セル(4)を振盪させ、振動させ、又は揺さぶることで生じる、請求項1に記載のシステム。

【請求項3】

4つ以上のセルを有する請求項1又は2に記載のシステム。

【請求項4】

異なる密度は、液滴、泡、粒子、固体物体又はポケットの携帯にある、異なる密度の固体、液体、又は気体の組み合わせによって生じる、請求項1乃至3の何れか1項に記載のシステム。

【請求項5】

所望のセルの容積を提供するために、一つ以上のセル内にインサートが提供される、請求項1乃至4の何れか1項に記載のシステム。

【請求項6】

プロセス流体の温度を制御するための伝熱要素(1)を備える、請求項1乃至5の何れか1項に記載のシステム。

【請求項7】

攪拌要素は、ヒンジ又は可撓性連結部によってセルにつながれている請求項1乃至6の何れか1項に記載のシステム。

【請求項 8】

セルの容積は異なるものである請求項 1 乃至 7 の何れか 1 項に記載のシステム。

【請求項 9】

セル間導管（4）によって相互に連結された一連のセル（3）と、

セル（3）内のプロセス材料を攪拌するための手段とを備え、

攪拌は、セルの壁と物理的に接触せずにセル内に配置された攪拌要素（1）によってもたらされる、反応装置。